

## 遠隔 ICU 分科会

### 1. 分科会の目的

本邦ではまだ普及が十分ではない遠隔 ICU に関して、運用モデル、国内での普及実績などを学会で発信していくことで遠隔 ICU の認知向上と普及推進に向けた活動をしていくことを目的とする。

### 2. 令和 6 (2024) 年度活動実績と成果

#### (1) 学術集会

第 27 回 遠隔医療学会学術集会において、分科会セッションによる議論を行った。様々な視点での発表があり、今後の遠隔 ICU の発展に繋がる分科会セッションとなった。

#### (2) 保険戦略

令和 6 年度に遠隔 ICU の診療報酬改定において特定集中治療室遠隔支援加算が診療報酬化された。それにより、全国で多くの大学や自治体が遠隔 ICU への取り組みを検討し始めている。様々な自治体に対して遠隔 ICU の情報共有を行なった。

#### (3) セミナー事業

遠隔 ICU を普及する特定非営利活動法人 集中治療部治療コラボレーションネットワークと連携して、Web セミナー 5 回開催した。

#### (4) AMED 事業

令和 6 年度の医工連携・人工知能実装研究事業 「患者のライブ映像を含むマルチモーダルな医療データを用いた AI 技術により、重症患者の身体観察所見及び重症度評価を自動化する AI 見守り機能を搭載した D-to-D の遠隔 ICU テレメディシン・サービスの実装研究」に関する研究活動を行なった。

### 3. 令和 7 (2025) 年度活動計画

AMED 事業を通じて、遠隔 ICU の評価方法、改訂されたガイドラインの共有、持続ケアモデルによる遠隔 ICU 以外のオンデマンド型に対応するモバイル型遠隔 ICU の評価・運用の課題を整理していく。